単位に関するご案内

本 Forum ではプログラムにより、以下の対象講習となります。

1. 日病薬病院薬学認定薬剤師制度（シンポジウム4-①/シンポジウム5-①を除くすべてのシンポジウムが対象）
2. 日病薬専門薬剤師制度（専門薬剤師部門による企画シンポジウムのみ対象）

※日病薬病院薬学認定薬剤師制度の研修単位及び日病薬専門薬剤師制度の受講証書は、本Forum参加登録時に交付を希望した方が対象となります。
参加登録後の選択内容の変更はできません。
※単位数につきましては、シンポジウムの開催時間に伴い、変更となる場合がございます。
予めご了承ください。

研修単位を希望される方は、「日病薬病院薬学認定薬剤師制度の集合研修単位発行に関するクラウド型会員管理システムの登録情報に関する留意事項」の事前の確認、対応が必要です。

日病薬病院薬学認定薬剤師制度の研修単位及び日病薬専門薬剤師制度の受講証書の交付条件

次の条件を全て満たした場合にのみ、交付いたします。

●対象シンポジウムの受講時間（シンポジウム開始～シンポジウム終了まで）の視聴履歴が確認できること
●対象シンポジウム中に表示される全ての異なるキーワードを回答して正解すること

※キーワードの回答期日は、8 月 10 日（月）23 時 59 分（オンデマンド開催終了）までです。
視聴を終了されてもキーワードの回答が間に合わない場合は申請不可となりますので、時間に余裕を持ってご視聴ください。

研修単位または受講証書の交付方法

●日病薬病院薬学認定薬剤師制度の研修単位は、10月下旬にHOPESSにて単位が付与される予定でございます。
●日病薬専門薬剤師制度の受講証書は、オンライン会場のマイページよりご自身で受講証書をダウンロードしてください。（詳細につきましては、今後、HP 上でご案内いたします）
ダウンロード可能期間は、10月下旬から2ヶ月間を予定しておりますが、時期が変更になる場合がございます。

※交付条件を満たした方のみ受講証書のダウンロードが可能となります。
※ダウンロード期間以降の、受講証書の再発行はいたしませんので、ご留意ください。

1. 特別講演（実行委員会企画） 各 60 分 【日病薬病院薬学認定薬剤師制度】 単位数：各 0.5 単位

No	演者	テーマ	研修項目
①	厚生労働省大臣官房審議官（医薬担当） 佐藤 大作	2040 年を見据えた医薬行政の方向性と病院薬剤師に期待すること	Ⅰ－1
②	一般社団法人日本病院薬剤師会 副会長 眞野 成康	病院薬剤師の生産性を考える	Ⅰ－1

2. シンポジウム（部会・委員会企画） 各 90-120 分 【日病薬病院薬学認定薬剤師制度】 単位数：各 1 単位

No	担当	テーマ	研修項目
①	総務部	使って活かそう！現状調査の利活用 2026	Ⅰ－1
②	組織強化推進部	病院薬剤師の継続的な人材確保の取組み ～データ・現場・学生の視点から考える。～	Ⅱ－5
③	薬剤業務委員会	開こう！周術期薬剤業務の未来 ～業務改善とアウトカム評価を探る～	Ⅲ－2
④	医療安全対策委員会	あなたの身近にある医療安全 ～医療安全をもっと身近に～	Ⅳ－1
⑤	医療情報システム小委員会	薬剤業務を支える医療情報システム ― 標準化とチェックの実践 2026	Ⅰ－2
⑥	医薬情報委員会 / プレアボイド報告評価小委員会 / インタビューフォーム検討会	次世代に向けた医薬情報関連委員会の取り組み	Ⅱ－3
⑦	医薬情報委員会	病院薬剤師が知っておきたい医療用医薬品の販売情報提供活動調査事業－製薬企業からの情報提供をどう考えるか－	Ⅱ－3
⑧	臨床研究推進委員会	なぜ今、薬剤師が GCP 改正を理解する必要があるのか	Ⅱ－6
⑨	中小病院委員会	課題をチャンスに変えるとき ～薬剤業務におけるイノベーション～	Ⅱ－6
⑩	精神科病院委員会	オーバードーズを“救急～精神科～地域”でどう防ぎ、どう関わるか －薬剤師に今 求められる役割とは－	Ⅲ－2
⑪	療養病床委員会	薬物療法における薬剤師の未来展望（第 8 弾！） ～ FPF 初！対話で考える！薬剤管理サマリーをめぐる実践者クロストークと次なる展開！～	Ⅲ－2
⑫	診療所委員会	患者・家族の QOL を支えるために～総合的な視点を活かした医療安全・治療最適化への関わり⑨～	Ⅲ－2
⑬	地域医療委員会	地域医療連携 Update 2026 ～ 4 つの実践事例から学ぶ「シームレスな情報連携」の最前線～	Ⅲ－2
⑭	生涯研修委員会	領域取得支援セミナー 2026～医薬品供給と経済の視点から考える、これからの医療と薬剤師の責務～	①Ⅱ-4（0.5 単位） ②Ⅱ-5（0.5 単位）
⑮	専門薬剤師認定制度委員会	専門薬剤師制度の今後のあり方について	Ⅱ－6
⑯	薬学教育委員会 / 卒後臨床研修の効果的な実施のための調査検討事業特別委員会	卒前・卒後の薬剤師教育：現在の展開	Ⅱ－6
⑰	学術委員会	令和 8 年度 日本病院薬剤師会病院薬局協議会 / 学術フォーラム	Ⅱ－6
⑱	がん専門薬剤師部門研修委員会 / 国際交流委員会	公益財団法人小林がん学術振興会助成 海外研修 2025 報告	Ⅱ－6
⑲	臨床研究倫理審査委員会 / 臨床研究推進委員会 / 臨床研究利益相反マネジメント委員会	薬剤師のための臨床研究はじめの一歩： 倫理指針改正を踏まえた「研究の進め方」と現場の実装	Ⅱ－6
⑳	災害対策委員会	組織に必要な災害時の支援と受援体制 ～病院薬剤師会と病院薬剤部門の体制を考える～	Ⅳ－1
㉑	重篤副作用疾患別対応マニュアル作成 ワーキンググループ	薬剤関連顎骨壊死・顎骨骨髄炎対応マニュアルの改定と医歯薬連携のポイント	Ⅱ－3
㉒	病院薬剤師確保策に関する検討特別委員会	人が循環すると、医療は変わる。－地方病院を支えた“たった一人の薬剤師”のインパクト－	Ⅱ－5
㉓	医療 DX 対応検討特別委員会	医療 DX 令和ビジョン 2030 に向けて～対応してきたこと、検討していること～	Ⅱ－3

3. シンポジウム（専門薬剤師部門企画）　各 120 分

No	担当	テーマ	上段　専門薬剤師単位・領域（※） 下段　病院薬学単位・研修科目（※）	
①	がん専門薬剤師部門	症例報告で示す薬剤師の在り方と専門性が 拓く次なる展開	1 単位	がん
			1 単位	Ⅱ－ 6
②	感染制御専門薬剤師部門	感染制御で活かす薬剤師のプロフェッショナリズム： 専門・認定薬剤師の今と未来	1 単位	感染制御
			1 単位	Ⅱ－ 6
③	精神科専門薬剤師部門	精神科領域で実践する薬剤師によるEBM ～薬剤師が繋ぐエビデンスと個別治療の架け橋～	1 単位	精神科
			1 単位	Ⅱ－ 6
④	妊婦・授乳婦専門薬剤師部門	認定専門を取得して日本の周産期医療を支えよう！	1 単位	妊婦・授乳婦
			1 単位	Ⅲ－ 1
⑤	HIV感染症専門薬剤師部門	日本エイズ学会・日本病院薬剤師会の共同認定 制度が拓く専門薬剤師の使命 ～HIV感染症薬剤師の育成と専門性の深化～	1 単位	HIV 感染症
			1 単位	Ⅱ－ 6

ブロック学術大会と日本病院薬剤師会事務局の業務紹介は単位付与の対象外です。